

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M16C-40-9912

M16C/80 グループ 10 進演算命令(DSUB、DSBB、DADD、DADC)使用に関する注意事項

1. 対象品種

- ・ M16C/80 グループ

2. 注意事項

10 進演算命令(DSUB、DSBB、DADD、DADC)実行中に DMA 転送が発生すると、演算結果が正しく出力されません。

3. 対策

DMA を使用する場合、10 進演算命令は使用しないでください。
16 進 -10 進変換、10 進 -16 進変換のプログラム例を次ページ以降に添付します。
10 進演算を行う場合は 16 進で演算を行い、10 進に変換してください。

16進-10進変換プログラム(2バイト)

```

.SECTION PROG, CODE
.GLB HEXtoBCD_2byte
;=====
; 表題：HEXコードからBCDコードへの変換
; 概要：HEX 2バイトコードをBCD 4バイトコードに変換
; 入力：-----> 出力：
; R0 () R0 (BCDコード下位4桁)
; R1 (HEXコード入力) R1 (不定)
; R2 () R2 (BCDコード上位1桁)
; R3 () R3 (不定)
; A0 () A0 (未使用)
; A1 () A1 (未使用)
; スタック使用量：なし
; 注釈：
;=====
HEXtoBCD_2byte: ; HEXtoBCD_2byte{
    mov.w #0,R0 ; BCDエリアの初期化
    mov.w #0,R2 ;
HEXtoBCD_2byte5: ; 5桁目カウント
    mov.w R1,R3 ; 引く前にR1をR3に退避
    sub.w #10000, R1 ; R1 = R1 - 10000
    jltu HEXtoBCD_2byte4 ; 4桁目以降へ
    inc.w R2 ; 5桁目++
    jmp HEXtoBCD_2byte5
HEXtoBCD_2byte4: ; 4桁目カウント
    mov.w R3, R1 ; R1復帰
HEXtoBCD_2byte4Loop:
    mov.w R1, R3 ; R1退避
    sub.w #1000,R1 ; R1 = R1 - 1000
    jltu HEXtoBCD_2byte3 ; if( R1 < 1000 ) 3桁目へ
    inc.b R0H ; 4桁目++
    jmp HEXtoBCD_2byte4Loop
HEXtoBCD_2byte3: ; 3桁目カウント
    mov.w R3, R1 ; R1復帰
    shl.b #4, R0H ; R0H << 4 (4桁目をシフト)
HEXtoBCD_2byte3Loop:
    mov.w R1, R3 ; R1退避
    sub.w #100,R1
    jltu HEX_toBCD_2byte2 ; if( R1 < 100 ) 2桁目へ
    inc.b R0H ; 3桁目++
    jmp HEXtoBCD_2byte3Loop
HEX_toBCD_2byte2: ; 2桁目カウント
    mov.w R3, R1 ; R1復帰
HEXtoBCD_2byte2Loop:
    mov.w R1, R3 ; R1退避
    sub.w #10, R1 ; R1 = R1 - 10
    jltu HEX_toBCD_2byte1 ; if( R1 < 10 ) 1桁目へ
    inc.b R0L ; 2桁目++
    jmp HEXtoBCD_2byte2Loop
HEX_toBCD_2byte1:
    shl.b #4,R0L ; R0L << 4 (2桁目をシフト)
    add.w R3,R0 ; 残り1桁を加算
rts ;}
.END

```

10進-16進変換プログラム(2バイト)

.SECTION PROG, CODE

.GLB BCDtoHEX_2byte

```

;=====
; 表題：BCDコードからHEXコードへの変換
; 概要：BCD 2バイトコードをHEX 2バイトコードに変換
; 入力：-----> 出力：
; R0 (BCDコード入力)   R0 (不定)
; R1 ()                 R1 (ループ変数)
; R2 ()                 R2 (HEXコード出力)
; R3 ()                 R3 (未使用)
; A0 ()                 A0 (未使用)
; A1 ()                 A1 (未使用)
; スタック使用量：なし
; 注釈：
;=====

```

```

BCDtoHEX_2byte:                ; BCDtoHEX_2byte{
    mov.w #0, R2                ; R2 = 0 (HEXエリアの初期化)
    mov.b #16, R1H              ; R1H = 16 (シフトループ回数設定)

BCDtoHex_2byte_Shift:          ; while( R1H ){
    shl.w #-1, R0               ; R0を右シフト 剰余 --> Cフラグ
    rorc.w R2                    ; Cフラグ付き右回転

    mov.b #4, R1L                ; R1L = 4 (ローテイトループ回数設定)
BCDtoHex_2byte_Rot:            ; while( R1L ){
    btst 3, R0L                  ; 補正チェック
    jnc BCDtoHEX_2byte_NoAdj    ; if ( b3 == 1 ){
    sub.w #3, R0                  ; 補正する
BCDtoHEX_2byte_NoAdj:          ; }
    rot.w #-4, R0                ; 4bit分ローテイトする
    adjnz.b #-1, R1L, BCDtoHex_2byte_Rot ; R1L--
    ;
    adjnz.b #-1, R1H, BCDtoHex_2byte_Shift ; R1H--
    ; }
rts                            ; }/* RTS */

.END

```

10進-16進変換プログラム(1バイト)

.SECTION PROG, CODE

.GLB BCDtoHEX_1byte

```

=====
; 表題：BCDコードからHEXコードへの変換
; 概要：BCD 1バイトコードをHEX 1バイトコードに変換
; 入力：-----> 出力：
; R0L ()          R0L (HEXコード)
; R0H (BCDコード) R0H (不定)
; R1L ()          R1L (不定)
; R1H ()          R1H (未使用)
; R2 ()          R2 (未使用)
; R3 ()          R3 (未使用)
; A0 ()          A0 (未使用)
; A1 ()          A1 (未使用)
; スタック使用量：なし
; 注釈：
=====

```

BCDtoHEX_1byte:

mov.b #0,R0L ; HEXエリアの初期化

mov.b #8,R1L ; ループ回数の設定

BCDtoHEX_1byte_10:

shl.b #-1,R0H ; 最上位ビットのシフト

rorc.b R0L ;

btst 3,R0H ;

jeq BCDtoHEX_1byte_20 ;

sub.b #3,R0H ;

BCDtoHEX_1byte_20:

adjnz.b #-1,R1L,BCDtoHEX_1byte_10 ; --> 次のBCD桁実行へ

rts

.END

16進-10進変換プログラム(1バイト)

```

.SECTION PROG, CODE
.GLB HEXtoBCD_1byte
;=====
; 表題：HEXコードからBCDコードへの変換
; 概要：HEX 1バイトコードをBCD 2バイトコードに変換
; 入力：-----> 出力：
; R0 () R0 (BCDコード)
; R1L (HEXコード) R1L (不定)
; R1H () R1H (未使用)
; R2 () R2 (不定)
; R3 () R3 (未使用)
; A0 () A0 (未使用)
; A1 () A1 (未使用)
; スタック使用量：なし
; 注釈：
;=====
HEXtoBCD_1byte:
    mov.w #0,R0 ; BCDエリアの初期化

HEXtoBCD_1byte_10:
    mov.w R1,R2 ; HEXデータ退避
    sub.b #0Ah,R1L ; 桁上がりチェック
    jltu HEXtoBCD_1byte_END ; 桁上がりがなければ終了
    add.b #10H,R0L ; 桁上がり分をBCDの上位桁に加算
    cmp.b #0A0H,R0L ; 2桁目の桁上がりチェック
    jne HEXtoBCD_1byte_10 ; 090H以下ならジャンプ
    add.b #01H,R0H ; 2桁目の桁上がり分をBCDの最上位桁に加算
    mov.b #0H,R0L ; BCDの下位をリセット
    jmp HEXtoBCD_1byte_10 ; 桁上がりがなくなるまで繰り返す。

HEXtoBCD_1byte_END:
    mov.w R2,R1 ; HEXデータ復帰
    add.b R1L,R0L ; BCDの下位桁を設定
    rts ;

.END

```